

もんえい

2022

9

No.54



表紙 の ことば

2022年は、3年目を迎えたコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻など、重苦しい世界情勢の中での始まりとなりました。春には今までにない低温、6月中に梅雨があがるという異常気象。そんな厳しい季節を乗り越えて、たくさんの農作物が実り、空は秋めき、山は紅葉が始まりつつあります。

農家の皆さん！さあ～収穫です！夏に頑張った方も、災害級の猛暑に手を抜いてしまった方も、それぞれに想いがあるかと思いますが、それでも平等に秋はやってきました。

朝日地域では、もうすぐ醸造用ぶどうの収穫作業が始まります。みんなが笑顔で今年を終える事ができるよう、もうひと踏ん張り、頑張っていきたいですね。

(伊藤由紀子推進委員)



期待高まる 女性の力



どの分野でも働き方改革が求められる現代、農業分野においても「女性の視点」で重労働の軽減や作業の効率化、子育て・介護のために休める環境整備などに取り組むことが重要と言えます。

自分に合ったスタイルで元気に農作業に取り組む女性を紹介します。

機械操縦 挑戦中



非農家出身の美穂さんの職場は、藤島関根地域を中心に約35畝を耕作する(株)サンエイファーム。会社では、輸出来やふるさと納税関係のお米の調製や袋詰め、箱詰め等、出荷発送業務を一手にこなしています。「きれい好きで真面目、発送業務を安心して任せられ、とても頼りにしている。」

と、社長さんや会長さんの信頼も厚い頑張り屋さんです。昨年は、田植え機やコンバインに乗るなど機械操作にも挑戦していると話し、「ガンダムを操縦するキアラになった気分になれる」と、収穫期の作業を待ち遠しい様子がとても印象的です。

「自分が収穫し、送ったお米を食べて喜んでももらえるのが嬉しい」と笑顔で話す姿から、仕事に対する前向きな気持ちが伺えました。会社の規模拡大にあわせて、今後ますます美穂さんが活躍する姿が見られそうです。(工藤久子農業委員)

つるおか★ファーマーズ No.3

伊藤 美穂 さん (藤島)



子育ても農作業も 夫婦で楽しく

て、両親が経営する丸山マッシュファームで椎茸栽培などを行っています。「風味豊かで美味しい」等の言葉が何よりの励み。また、地域の方から声をかけてもらったり、分からないことを親切に教えてもらったり、農作業中の会話も楽しみの一つだそうです。

農作業をする両親の姿を見て育ち、「いつか自分も農業に」という夢を持つようになった泉さん。現在、子育ての合間を縫って、両親が経営する丸山マッシュファームで椎茸栽培などを行っています。「風味豊かで美味しい」等の言葉が何よりの励み。また、地域の方から声をかけてもらったり、分からないことを親切に教えてもらったり、農作業中の会話も楽しみの一つだそうです。



つるおか★ファーマーズ No.4

阿部 泉 さん (朝日)

子育てが一段落したら本格的に農業に従事し、大型特殊免許の取得や、栽培から販売までを一貫して手がけながら生産物のブランド化も進めたなどの意気込みを語ってくれました。

時々作業を手伝いに行くという(農)庄内おばこ農場には旦那さんが勤務しています。泉さんの良き理解者として一緒に働く姿を見ていると、とても微笑ましい気持ちになりました。(碓氷伸推進委員)



丸山マッシュファームの「愛しい茸」のデザインは夫婦で考案したものだそう

家族の理解に感謝!

～女性委員の紹介～



農地利用最適化推進委員
碓氷 伸 委員 (羽黒)

まず一歩、踏み出して

農業委員の方が月に何度も会議などに出席する姿を見ていたので、大変なことは知っていました。でも、やってみないとわからない、まずは一期頑張ってみようと思ひ、令和2年の秋に農地利用最適化推進委員となりました。

実際に活動するとわからないことが多く勉強の日々です。例えば、農地法という法律があることを知りませんでした。農地の売買や貸借、転用の申請等があれば、法律に従って現地確認を行い、



毎月開催される農地部会を通して審議、許可をしているのです。部に初めて出席した時は、厳粛な場に圧倒されたことを覚えています。

地域の仲間と一緒に

同じ羽黒地域の委員の皆様や、事務局の方が親切に面倒を見てくれるので、今は安心して活動を行うこと

ができています。農家の方から相談等があったときは、すぐに事務局に相談して、できるだけ早めに対応することを心がけています。徐々に他地域の委員の皆さんの顔も覚え、折に触れて話をするなど、地域を越えた横の繋がりができる

女性の力を生かしたい
私を含め現在の女性委員は7人ですが、皆さんとても話しやすく、地域で頑張っている方々です。新年会、歓送迎会、女子会なども行いながら楽しく交流しています。

女性委員を増やすことが課題ですが、子育てが一段落して、いざ本格的に農業に従事しようと思うと、今

度は親の介護等が待ち受けている場合もあります。女性委員のなり手が少ないのも、こうした現状が関係しているのではないかと思います。今、思う存分活動できるのは家族の理解と協力があればこそと、心から感謝しています。将来、意欲ある若手農業者が増えていくこと、そして地域を担う女性農業者が活躍できることを切に願っています。



定期的開催される農業委員会総会の様子

収入保険の掛捨て保険料を、最大3万円支援します!

補助対象 青色申告を行っていて、R4.12.31まで収入保険に「新規加入」した方

- ※【個人の方】収入保険の期間がR5.1～12であること
- ※【法人の方】収入保険の始期日がR4.4.1～R5.3.31内であること

令和4年度鶴岡市
収入保険新規加入
緊急奨励事業補助金

補助金 掛捨て保険料のうち「3万円」または「掛捨て保険料実費」のいずれか低い額

※ 積立金、付加保険料は支援の対象外

収入保険加入に
についてのお問合わせ



NOSAI 山形
相談窓口

補助金についてのお問合わせ

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 鶴岡市役所農政課 (35-1295) | 櫛引庁舎産業建設課 (57-2114) |
| 藤島庁舎産業建設課 (64-5809) | 朝日庁舎産業建設課 (53-2117) |
| 羽黒庁舎産業建設課 (62-2527) | 温海庁舎産業建設課 (43-4616) |

農地現地研修を実施しました

農業委員会では、管内の先駆的事例や遊休農地を再生した優良事例等を視察するとともに、農地活用の実態や維持、転用の状況等を把握するため、農地現地研修を行っています。今年7月6日に管内3か所を中心に視察しました。

月山麓の小麦団地

〜羽黒・川代〜

月山11団地では、以前、赤かぶやアスパラガス、メロン等が作付けされていたが、連作障害により耕作されなくなった農地12畝余で小麦が栽培され、大型のコンバインでの収穫が最終盤を迎えています。

大面積をこなすため大型機械を導入し作付けした小麦は土壌改良の効果もあり、今後予定されているとうもろこしとの輪作は、スマート・テロワール輪作体系構築にも合致するものです。

月山を望む広大な農地に映える最新鋭の巨大なトラクターとコンバインに圧倒されながらも、その意気込みに新たな可能性を感じました。

大区画化した水稲のほ場

〜藤島・下中野目〜

連坦する水田の縦畦畔を除去し、30㍍のほ場を、90㍍や150㍍に大区画化し効率

荒廃農地を再生したほ場

〜榎引・丸岡〜

的な作業を可能とした事例を視察しました。レーザレベラーを使用し自前で整備したほ場では草刈作業や機械作業の省力化・低コスト化を実現しています。

もともと水稲の転作で作付けされた山菜やアケビの農地が荒廃化したほ場を、



再度農地として活用するために地域ぐるみで再生した事例です。

多面的機能支払交付金を活用し、雑木等の伐採・伐根、除草、整地を業者委託で実施し見事に再整備されました。令和5年度からは、農地中間管理事業により隣地耕作者が借り受け耕作する予定だそうです。

現地での視察を終えたのち、参加全委員で検討・意見交換を行い、今後の農地維持、営農のやり方について認識を新たにしましたところです。(石塚治己農業委員)

農地の賃借料について話し合いをしてみませんか？

「経営が厳しく今まで通りの賃借料では…」といった農業者からの声が多く寄せられています。その背景として、昨今のウクライナ侵攻による燃料費や資材費の高騰、コロナ禍での米需要低下による米価の下落など、農業者にとって厳しい状況が続いていることが挙げられます。

賃借料の変更は、出し手と受け手双方の合意があれば変更が可能となっていますので、賃借料についてお話する機会を設けてみてはいかがでしょうか？



こんにちは！ SEADS シーズです！！

鶴岡市立農業経営者育成学校（以下SEADS）は、旧「いこいの村庄内」跡地に2020年に開校した有機農業をはじめ持続可能な農業を、座学と実習を通じて学ぶ場です。

SEADSは2年制（1学年定員10名）の学校で、20～40代の研修生が農業経営者を目指し研修に励んでいます。

概ね週4日のカリキュラムが組まれており、研修生は座学（1日程度）で栽培基礎知識や経営などを学ぶほか、一人ひとり地域の農家のもとへ実習（3日程度）に出向き、園芸作物や水稻の栽培技術を学んでいます。

加えて、視察研修で地域の様々な農業の現場に触れたり、若手農業者との交流会で情報交換や人脈作りを行いながら、各自が思い描く就農ビジョンの実現に向けて日々研修に取り組んでいます。

また、共同生活という利点を活かし、研修生それぞれが実習先で得た学びを共有できることも特長の一つです。



祖父母の桃を受け継ぎたい
 幼少期から桃畑を走り回るなど、常に生活の中に桃がありました。
 祖父母が高齢となり、手が回らず切られる木を見て「自分が育てて守っていききたい」と感じるようになってきました。
 就農を検討した際、技術習得のための研修や各関係機関との関わり方など一人ひとりで進めることにハードルを高く感じたため、SEADSへの入校を決意しました。
 農業を志す仲間と過ごすことで、よい刺激を受けています。



3期生
齋藤颯人さん
鶴岡市出身。
茨城県からUターン

SEADSでの出会いが知見を広げてくれた
 3月にSEADSを修了し、現在はミニトマト、えだまめを軸に営農をしています。
 主品目となるミニトマトはSEADS在学中に出会った方に影響を受けて栽培することにしました。
 人との出会いが私の視野を広げ、作目や農法など新たな知見を得ることができました。
 まずは経営を軌道に乗せ、さらに若手農家の仲間と共に産に取り組みます。



1期生
富樫英司さん
今年4月より栄地区で営農をスタート



新たに9名の3期生を迎えました



西郷地区の委員と研修生の顔合わせ会を実施
 6月7日（火）に西郷地区農業委員・農地利用最適化推進委員4名と、西郷地区での就農を希望する研修生2名との顔合わせ会を実施しました。
 研修生は委員に対して、就農を志す理由や希望する品目について伝え、西郷地区の農地や住居について相談をしました。
 実際に候補地を訪れ、就農の参考にした研修生からは「貴重な機会だった。西郷地区で営農を頑張りたい」との声が上がるなど、有意義な会となりました。

入校体験会参加者募集

10月29日、30日（土、日）に第2回入校体験会を開催します。

農業体験や座学体験、鶴岡市の農業に関する概要説明、SEADSの施設紹介などを行う、現役の研修生と交流する時間もあります。
 詳細はHPをご確認ください。

SEADSでは4期生を募集しています。農業を始めたいという方、継承を考えていらっしゃる方はぜひお問い合わせください。個別相談・見学も可能です。（要事前相談）
<https://tsunuka-seads.com/>

HPやSNSでは研修の様子や情報を発信中です。



HP



FB



Twitter



加入しています

農業者年金

鶴岡 西郷
 大場 靖智^{やすとも}さん(63歳)
 大場 智晃^{ともあき}さん(36歳)

Uターンをして一緒に農業の道へ

西郷地区下川上の大場さん親子は地域農業を担う専業農家です。
 農事組合法人「しもがわ」の構成員でもある靖智さん(父)は、70 鈔の経営面積を持つ同法人で、水稲・大豆8 鈔の生産・販売業務に携わる傍らメロン1.5 鈔の栽培も行っています。一方、息子の智晃さんは、一度地元を離れたものの妻と子供と一緒にUターン

をして就農しました。父とは別経営体として、ミニトマトや軟白ねぎ等の栽培に取り組んでいます。

節税効果が魅力！

靖智さんは高校卒業後すぐ家業である農業に就き、農業者年金(旧制度)に加入していましたが、2人の息子が大学進学しその費用に充てるため一度脱退しました。

しかし、支払った保険料全額が確定申告時に社会保険料控除の対象になることや、積立方式で加入・脱退が自由に行けるなど大きなメリットが魅力で、新制度の農業者年金に再度加入しました。

親子で農年加入

そんなお父さんの勧めで、智晃さんも就農と同時に農業者年金に加入し、保険料に国庫補助のある政策支援加入を選択。「若いうちに加入することで、長期間保険料の補助が受けられる。早めに制度を知って良かった。」「農業は忙しいが、自分で計画し子供たち



と過ごす時間を作れる生活に、今は満足している。」と話してくれました。
 智晃さんの気持ちに因應かのように、3人の子供たちも率先して農業のお手伝いをしてきています。


実直でしっかりとした農作業で農業経営をしてきている息子の姿に、靖智さんはそろそろ経営移譲を考えており、「今後は親子一緒に経営体として、安定した農業経営で、西郷地区全体を盛り上げていきたい。」と語ってくれました。
 (佐藤泰仁推進委員)

あ と が き

「人・農地プラン」が法定化され、将来の農地の効率的かつ総合的な利用に関する目標等を定めた「地域計画」を策定し、目標とする農地利用の地図を作成することになりました。
 来年4月に施行されれば、2年以内に地域計画の策定が求められます。大変です。
 皆さん、御協力
 よろしくお祈りします。
 (佐藤康弘農業委員)



農業者年金が さらに便利になりました!



- ①35歳未満の方は、月額1万円から加入できます!
- ②年金の受給開始時期を、ご自身で選択できます!
- ③加入可能年齢が、60歳から65歳に引き上げ!

※加入等には一定の要件を満たす必要があります。詳しくは最寄りのJA、農業委員会事務局、各分室へお問い合わせください。

鶴岡市農業委員会事務局
 〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25(鶴岡市藤島庁舎内) ☎64-5868(直) FAX.64-5846
 ○鶴岡分室 25-2111(代) ○羽黒分室 62-2527 ○櫛引分室 57-2114 ○朝日分室 53-2117 ○温海分室 43-4616
<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouuinaki/index.html> 発行/年3回(1・4・9月)